

聴講承認届（継続聴講*用）

西暦 年 月 日

東京外国語大学長 殿

所属学部	
学籍番号	
専攻(地域)言語/所属地域 ※国際日本学部生は不要	
学 年	
氏 名	
電話番号	
E - m a i l	

このことについて、下記のとおり継続履修の承認を受けたのでお届けします。

今年度履修科目				前年度（前々年度）履修科目				教員 承認印
履修コード	授業科目名 (単位数)	開講学期 (曜日・時限)	担当教員名	履修コード	授業科目名 (単位数)	開講学期 (曜日・時限)	担当教員名	
	卒業研究演習1 / 卒業論文演習A (2単位)	春学期 (.)			卒業研究演習1 / 卒業論文演習A (2単位)	____年度 春学期 (.)		
	卒業研究 / 卒業論文 (8単位)	通年 (時間外)			卒業研究 / 卒業論文 (8単位)	____年度 通年 (時間外)		
	教育実習 (単位)	通年 (.)			教育実習 (単位)	____年度 通年 (.)		

提出期限： 秋学期 履修登録期間

この聴講承認届で知り得た個人情報、学生本人への確認及び連絡、継続聴講科目の履修登録、修正、削除、教員への連絡に限り使用します。

継続聴講*とは？ → 《裏面》参照

継 続 聴 講 と は

「**継続聴講**」とは、休学や派遣留学前に履修していた科目(通年開講科目)を、復学後に続けて履修することで、1年間の履修と見なす制度です。

「**継続聴講**」にあたっては、授業担当教員に継続履修の承認を得たうえで、聴講承認届(本紙表面)の提出が必要です。

「**継続聴講**」を**できる科目**は、休学や派遣留学前に履修していた科目と「授業科目」「講義内容」「授業担当教員」が同一であることを原則としますが、大学の都合により教員や内容が変更された場合は、授業担当教員が承認すれば継続聴講の取扱いをすることができます。

授業担当の先生方へのお願い

「**継続聴講**」の制度により学生から願い出があり、継続聴講を認める科目には、承認印欄に押印をお願いします。

「**継続聴講**」を承認した科目の成績評価は、休学や派遣留学前の履修期間と復学後の履修期間を合**わせて**評価いただきます。休学・派遣留学前後で授業担当教員が異なる場合は、成績の引継ぎを確実に行っていただくようお願いします。

《参考》 復学者の科目履修単位認定に関する内規

学年の途中において復学した者でも、次に掲げる条件を備える場合は、復学した年度の終わりに、履修科目の認定を受けることができる。

- (1)復学が許可された日が、前年度又は前々年度に休学を許可された日又はそれ以前の日に当たる者
- (2)単位認定を受ける科目が、休学前に履修していたものであって、引き続き履修するための聴講届が復学に当たって提出されている者
- (3)この内規は、昭和36年4月1日から実施する